

R04 年度 測量士試験 問題 午前 No19 (写真測量)

<R04-No19 : 写真測量 : 問題>

公共測量におけるデジタル航空カメラを鉛直下に向けた空中写真撮影を行うに当たり、標高が 200 m から 600 m までの範囲にある土地を撮影範囲全体にわたって同一コース内の隣接空中写真間の重複度が最小で 60 % となるように計画した。撮影基準面の標高を 200 m とするとき、撮影基準面における同一コース内の隣接空中写真間の重複度は何% となるか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、使用するデジタル航空カメラは画面距離 9 cm、画面の大きさ 14,000 画素× 11,000 画素、撮像面での素子寸法 7 μ m とし、画面短辺が撮影基線と平行であるとする。

また、空中写真の撮影は等高度で、撮影基線長は撮影範囲全体にわたって一定であるとし、撮影基準面での地上画素寸法は 10 cm とする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

1. 59%
2. 60%
3. 63%
4. 67%
5. 72%